

作成日 2004年04月15日

改訂日 2016年05月12日

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

- ①製品名 : ONIグラウト-S  
②会社名 : 株式会社伊藤製鐵所  
③住所 : 〒101-0032 東京都千代田区岩本町三丁目2番4号 岩本町ビル7F  
④担当部門 : 筑波工場品質保証部・環境保全課  
電話:029-837-2111 FAX:029-836-3581  
石巻工場品質保証部・環境保全課  
電話:0225-96-1111 FAX:0225-96-0256  
⑤緊急連絡先 : 株式会社伊藤製鐵所 電話:029-837-2111  
⑥推奨用途及び使用上の制限: 土木、建築分野  
⑦整理番号 : C56

### 2. 危険有害性の要約

#### ①GHS分類

- ①-1 物理化学的危険性 : 該当しない  
①-2 健康に対する有害性  
: 皮膚腐食性/刺激性 区分2 [H315]  
: 皮膚感作性 区分1 [H317]  
: 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1 [H318]  
: 特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) 区分3(気道刺激性) [H335]  
①-3 環境に対する有害性 : 分類できない

#### ②GHSラベル要素



- ②-1 絵表示又はシンボル:  
②-2 注意喚起語 : 危険  
②-3 危険有害性情報 : 皮膚腐食性/刺激性 [H315]  
: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ [H317]  
: 重篤な眼の損傷 [H318]  
: 呼吸器への刺激のおそれ [H335]

#### ②-4 注意書き

- 予防策 : 粉じん/ミストの吸入を避けること。  
: 取扱後は、手をよく洗うこと。  
: 屋外または換気のよい場所でのみ使用すること。  
: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

- : 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- 安全対策 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
: ただちに医師に連絡すること。
- 皮膚(または髪)に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。  
: 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。  
: 汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
: ただちに医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合 : 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 保管 : 施錠して保管すること。  
: 容器を密閉して換気の良いところで保管すること。
- 廃棄 : 内容物/容器を都道府県の規則に従って廃棄すること。

③GHS分類に該当しない他の危険有害性

- : 水と接触するとアルカリ性(pH11~13)を呈し、眼、鼻、皮膚に対し刺激性があり、眼の粘膜、鼻の内部組織、皮膚に炎症を起こす可能性がある。飲み込むと、のどを刺激する。

④重要な徴候 : なし

⑤想定される非常事態の概要: 高濃度で水に流出すると水生生物に有害であることが推測され得る(水酸イオン濃度[pH]の上昇)。

⑥国/地域情報 : なし

3. 組成、成分情報

単一製品、混合物の区別 : 混合物

化学名	含有量(%)	CAS No.
ポルトランドセメント	70~90	65997-15-1
シリカフューム	5~20	69012-64-2
酸化カルシウム	3以下	1305-78-8
添加剤	3以下	非公開

・労働安全衛生法第57条の2第1項(通知対象物 政令番号第190号 酸化カルシウム)

化学式: CaO 化審法番号: 1-189 CAS番号: 1305-78-8

・ポルトランドセメントに酸化カルシウムとして最大2%含有する可能性がある

PRTR法 : 該当しない

労安法 : 酸化カルシウム

毒劇物法 : 該当しない

4. 応急措置

- ①吸入した場合 : 新鮮な空気の場所へ移動させ安静にし、直ちに医師の診断を受ける。  
: 呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
: 呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。
- ②皮膚に付着した場合 : 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

- : 多量の清浄な水と石鹼で洗うこと。
- : 汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。
- ③眼に入った場合 : 清浄な水で最低15分間目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受けること。
- : 洗眼の際、まぶたを指でよく開いて眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。
- : コンタクトレンズを着用している場合は外して洗眼すること。
- ④飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。
- : 清浄な水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の清浄な水または牛乳を飲ませる。
- : 直ちに医師の処置を受ける。
- : 無理に吐かせてはならない。
- : 被災者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない。
- : 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けること。
- ⑤最も重要な兆候及び症状 : 特になし。
- ⑥応急措置をする者の保護 : 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。
- ⑦医師に対する特別注意事項 : 特になし。

## 5. 火災時の措置

- ①消火剤 : この製品自体は燃焼しない。
- ②使ってはならない消火剤 : 特になし。

## 6. 漏出時の措置

- ①人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
  - : 作業の際には必ず保護手袋、長靴、保護メガネ、防じんマスク等の保護具を着用すること。
  - : 多量の場合、人を安全に待避させる。
- ②環境に対する注意事項 : 漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。
- ③封じ込め及び浄化の方法 : 漏出したものはスコップ、ほうき等で集め、袋等の空容器に回収する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- ①取扱い
  - ①-1 技術的対策 : 取扱いは、換気のよい場所で行う。
  - : 作業場の換気を十分行う。
  - : 取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。
  - : 飛散した粉じんを吸い込まないようにする。
  - : 屋外での取扱いは、できるだけ風上から作業する。
  - : 取り扱いの場所には、関係者以外の立ち入りを禁止する。
  - : 眼、皮膚、衣類には付けないこと。
  - : 休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔等をよく洗う。
  - : 休憩場所には、手袋等の汚染された保護具を持ち込んではいけない。
  - : 指定された場所以外では、飲食、喫煙を行ってはならない。

- : 長時間あるいは繰り返し皮膚等への接触を避ける。そのため、保護具(保護手袋、長靴、保護メガネ、防じんマスク等)を着用する。
- : 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

①-2 局所排気・全体換気

- : 取扱う場合は、出来るだけ局所排気内または全体換気の設備を設置して取扱う。

①-3 注意事項

- : みだりに粉じんが発生しないように取扱う。
- : 取扱い後は、顔、手、口等をきれいに洗う。また、衣服が汚れた場合には洗ってから着用する。袋の場合、破袋などにつながるような粗暴な取扱いをしない。
- : フレコン等で吊り上げて移動する場合、その下部になる所へは絶対身をおかない。

①-4 安全取扱い注意事項

- : アルカリ性なので、酸性(塩酸、硫酸、硝酸等)の製品との接触を避ける。

②保管

②-1 適切な保管条件

- : 変質を防止するため、直射日光、水漏れ、湿気、熱を避けて常温で保管する。
- : 酸性物質と一緒に保管しない。
- : 施錠して保管すること。
- : 容器を密閉して換気の良いところで保管すること。

②-2 安全な容器包装材料

- : 防湿のため密閉可能な袋または容器。

8. 暴露防止及び保護措置

①設備対策

- : 屋内等通気の悪い場所では、換気及び局所集じんを行う。
- : 取扱い場所近くに、眼や身体を洗浄するための設備を設置する。

②管理濃度

- : 労働安全衛生法・作業環境評価基準 2.9 mg/m<sup>3</sup>

③許容濃度

ポルトランドセメント: 日本産業衛生学会(2014年度版)第2種粉じん 1[mg/m<sup>3</sup>] (吸入性粉じん)  
4[mg/m<sup>3</sup>] (総粉じん)

OSHA PEL : General Industry : 50[mppcf ]TWA (Respirable Fraction)

ACGIH (2010年度版) : TLV: 1[mg/m<sup>3</sup>] TWA

シリカフェーム ACGIH (2010年度版) : TLV: 2[mg/m<sup>3</sup>] TWA (吸入性粉じん)

酸化カルシウム ACGIH (2010年度版) : TLV: 2[mg/m<sup>3</sup>] TWA

④保護具

④-1 呼吸器用の保護具

- : 防じんマスク<T 8151>、簡易防じんマスク

④-2 手の保護具

- : ゴム製保護手袋(ラテックスアレルギーの方は天然ゴム製の手袋を使用しないで下さい)

④-3 眼の保護具

- : 保護眼鏡<T 8147>(密閉型ゴーグル)

④-4 皮膚及び身体の保護具

: 保護衣(長袖)、保護長靴(ゴム長靴)

9. 物理的及び化学的性質

① 外観

物理的状态

形状 : 粉体

色 : 灰色

② 臭い : 無臭

③ PH : 水と接触すると 11~13

④ 融点/凝固点 : データなし

⑤ 沸点、初留点と温度範囲: データなし

⑥ 引火点 : 関係なし

⑦ 自然発火点 : データなし

⑧ 燃焼性 : 燃焼しない

⑨ 爆発範囲 下限: 関係なし 上限: 関係なし

⑩ 蒸気圧 : 関係なし

⑪ 蒸気密度 : 関係なし

⑫ 蒸発速度 : 関係なし

⑬ 比重(相対密度) : 2.90~3.30g/cm<sup>3</sup>(20°C)

⑭ 溶解性 : 水に難溶性

⑮ オクタノール/水分配係数: log Pow = データなし

⑯ 分解温度 : データなし

⑰ その他のデータ : なし

10. 安定性及び反応性

① 安定性 : 通常条件では安定。

② 危険有害反応可能性 : 水と反応して固化する。

③ 避けるべき条件 : 吸湿するため湿度の高い環境に長時間置かない。

④ 混触危険物質 : データなし。

⑤ 危険有害な分解生成物: 生成しない。

⑥ その他 : なし

11. 有害性情報

① 急性毒性 : データなし

② 皮膚腐食性/刺激性 : 成分であるポルトランドセメントの区分は2である。  
(皮膚腐食性/刺激性 [H315])

③ 眼に対する重篤な損傷/刺激性: 成分であるポルトランドセメント、酸化カルシウムの区分は共に1である。  
(重篤な眼の損傷 [H318])

④ 呼吸器感作性又は皮膚感作性: 成分であるポルトランドセメントの区分は1である。

ONIグアウト-S、株式会社伊藤製鐵所、C56、2016年05月12日、6/7  
(アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ [H317])  
極微量のクロム化合物が含まれており、六価クロムに対して過敏である場合にアレルギーが起こる可能性がある。

- ⑤生殖細胞変異原性(変異原性)： データなし
- ⑥発がん性： データなし
- ⑦生殖毒性： データなし
- ⑧特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)：成分であるポルトランドセメント、酸化カルシウムの区分は共に3である。  
(呼吸器への刺激のおそれ [H335])
- ⑨特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)： データなし
- ⑩吸引性呼吸器有害性： データなし
- ⑪その他の情報： 水と接触するとアルカリ性を呈するので注意する。

## 12. 環境影響情報

- ①生態毒性： データなし
- ②残留性/分解性： データなし
- ③生体蓄積性： データなし
- ④土壌中の移動性： 物理化学的性質から見て大気、水域(水質、底質)、土壌環境に移動しうる。
- ⑤他の有害影響： データなし

## 13. 廃棄上の注意

- ： 内容物/容器を都道府県知事の規則に従って廃棄すること。
- ： 製品(粉体)の廃棄は、廃棄物の処理および清掃に関する法律の汚泥の処理基準に基づき廃棄する。硬化体の場合は、廃棄物の処理および清掃に関する法律の建築廃材の処理基準に基づき廃棄する。洗淨水の排水は、水質汚濁防止法に基づき処理を行う。
- ： 容器の廃棄は残余廃棄物と同様、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
- ： 外部に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を依頼する。

## 14. 輸送上の注意

- ① 国際規制
  - ①-1 国連番号： 該当しない。
  - ①-2 品名(国連輸送名)： 該当しない。
  - ①-3 国連分類： 該当しない。
  - ①-4 容器等級： 該当しない。
  - ①-5 海洋汚染物質： 該当しない。
- ②国内規制
  - 【陸上輸送】
    - <消防法>： 該当しない。
    - <毒劇物取締法>： 該当しない。

【海上輸送】

船舶安全法 : 該当しない。

【航空輸送】

<航空法> : 該当しない。

③輸送の特定の安全対策及び条件

: 転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。  
: 水漏れ厳禁。

④緊急時対応措置指針番号: なし

15. 適用法令

: 労働安全衛生法 粉じん障害防止規則第2条 粉じん作業

法第57条の2 通知対象物 (酸化カルシウム 政令番号 190)

: 化学物質管理促進法 該当しない

: 毒劇物取締法: 該当しない

: 消防法 該当しない

: 化審法 第8条第1項第3号に該当する一般化学物質

: 船舶安全法 該当しない

: 航空法 該当しない

: 海洋汚染防止法 該当しない

: 物質および混合物の分類、表示及び包装(CLP) に関する欧州議会および理事会規則 参照

16. その他の情報

- 1)この情報は、作成者の知識の及ぶ限りにおいて正確ですが、その内容の絶対的な情報の正確性および情報収集の網羅性においては完全ではありません。
- 2)本記載内容は、材料、製品に関するものであり、この材料が他の素材と組み合わせたり、処理された場合については想定しておりません。
- 3)特に医薬用途では使用しないで下さい。
- 4)この材料を適切に使用する最終的決定の責任及びこの情報をユーザー独自の取扱いに適合させ、完全で満足できるものとする責任はユーザーにあります。
- 5)全ての材料には未知の危険性があり、取扱いに十分に注意する必要があります。この SDS には特定の危険性について記載してありますが、これ以外の危険性が存在しないとはいえません。
- 6)ご使用に際しては、必ず貴社にて事前テストを行い、使用目的に適合するかどうか、および安全についてご確認ください。
- 7)本書の記載は新しい知見により断りなく変更する場合がありますのでご了承ください。

以上